

品川区DX推進基本方針（暫定版） パブリックコメント～ご意見と区の考え方～

実施期間: 令和7年2月1日から令和7年2月28日まで
※ご意見については、趣旨を損なわない範囲で要約しています。

1. サービスDXに関連するご意見

No.	ご意見(要旨)	区の考え方
1	暫定版P2に「利用者起点でのサービス改革の必要性」、P4に「必要な情報に簡単にアクセスできる環境を整えます」とあります。一方でHP上、パブリックコメントについては、トップページ > 区政情報 > 広聴・情報公開 > パブリックコメント と辿る必要があり見つけづらいため、トップページにバナーを入れるなど、容易にアクセスできるようにして頂きたいです。	必要な情報に簡単にアクセスができるようホームページの改善に努めてまいります。
2	区ホームページが見づらく、必要な情報が見つけにくい。DX推進の第一歩として区ホームページを見直していただきたい	

2. 地域DXに関連するご意見

No.	ご意見(要旨)	区の考え方
1	デジタル庁デジタル推進委員は地域の高齢者やハンデのある人のデジタル利用を支援している。品川区在住のデジタル推進委員(推定100人以上いる)に高齢者やハンデのある人のデジタルの悩みと解決方法を聴取し課題を整理すべきである。その上でDX推進策を作ればより現実的、効果的な手を打てる。 ちなみに私はデジタル推進委員を拝命しており、地域のかたに役に立つようほぼ毎日活動中です。必要あれば私がデジタル委員をまとめて上述のアクションをボランティアで引き受けます。	品川区DX推進基本方針に記載の「デジタル化推進委員」は、名称がデジタル庁の「デジタル推進委員」と類似していますが、両者は異なる取り組みです。当区の「デジタル化推進委員」は区独自の施策で、各部署でDX推進の中核を担う区職員を指し、庁内向けの業務のみを対象としています。（暫定版ではデジタル化推進委員としておりましたが、DX推進委員に改称し掲載を行う予定です。） 当区は、区民誰もがDXの恩恵を受けられるDX推進を重要課題と位置付けています。デジタルデバйд解消の一環として「パソコン・タブレット・スマホ教室」や「スマホ体験教室・よろず相談」などの事業を実施しています。今後も、誰一人取り残さないデジタル社会の実現に向けて、積極的に取り組んでまいります。いただいたご意見は、貴重なご提案として、参考とさせていただきます。
2	P5に「防災情報等の収集・分析・伝達の仕組みを拡充し、安心安全なまちづくりを推進」とありますが、新住民が多くなり、過去の五反田駅周辺での浸水などを知らない人が増えています。区民の防災意識を高めるため、過去の大水害等の被災内容をわかりやすく伝えることに取り組んで頂きたいです。	防災意識向上のための過去の災害情報の活用は、非常に重要な視点だと認識しております。現在、区ホームページにおいて、「浸水に関するハザードマップと浸水実績」「品川区町丁別浸水実績一覧表」を掲載しております。引き続き防災意識向上のためデジタル技術を活用することで防災意識を高め、より安全安心なまちづくりを推進してまいります。
3	P5「デジタル活用により魅力的で安心安全なまちをつくります」の中に「データ活用、デジタル技術の活用により、官民が連携・参画して、地域の課題解決を図る取組や、効率的で計画的なまちづくりを推進」とあります。区が持っているデータをオープンデータ化して区民が容易にアクセスし生活や活動に役立てられるようにして頂きたいです。	本区では、人口動態などの基礎的なデータを区ホームページで公開するとともに、東京都のオープンデータポータルサイトにもデータを提供しております。東京都へのデータ提供により、23区間での比較分析が可能となり、広域的な視点での政策立案や区民の皆様の利便性向上に寄与していると考えております。引き続き、オープンデータの拡充に努めるとともに、アクセスしやすい環境整備を進めてまいります。
4	オープンデータについての記載が見当たらない。お隣の大田区ではホームページで公開しており、「オープンデータの利活用を進めることにより、官民の協働による地域課題の解決や、新産業の創出・地域経済の活性化、行政の透明性・信頼性の向上が期待されます」とある。品川区もDXを推進するのであれば、個人情報に関わらない部分でのオープンデータを、東京都のサイトではなく区ホームページ内で独自に公開していただきたい	

3. シゴトDXに関連するご意見

No.	ご意見(要旨)	区の考え方
1	それぞれのdx方針について素晴らしいと感じました。 追加でぜひお願いしたいこととして以下を提案いたします。 シゴトdxについて、様々なdxを考える上で、若手職員がせっかく良い提案を考えても品川区役所内の各所属管理職の意識や意思決定が実現を左右すると考えます。そこで、管理職について、意識改革や積極的な意思決定のため、一定の強制力を持たせることとしてほしいです。具体的には、dx実現結果を管理職の人事評価に取り入れることをお願いしたい。そして、dxを進められなかった管理職には、若手から〇〇という提案があったがなぜできなかったのか、理由を書いたコメントを所属毎にまとめてホームページで公表することをお願いしたいです。	DX推進における管理職の重要性について、貴重なご意見ありがとうございます。当区では、管理職の意識改革と積極的な関与が不可欠だと認識しております。若手職員からの提案を積極的に取り入れる風土づくりなどを積極的に進めていきたいと考えております。なお、DX推進状況の人事評価への反映やホームページでの公表については、貴重な参考意見として承ります。
2	P6に、「AIやデジタルツール活用により内部事務の効率化、高度化」の中に、「AIを活用し業務効率化と業務精度の向上を実現」とあります。先進的な企業は、自社データベースと連携させて、RP AIに自動化をキックさせる処理ができるようにしているようであり、そうした事例を参考に効率化に取り組んで頂きたいです。また、AIは自動化効率化だけでなく、ヒトとヒトとの間、区と区民との間に、価値をどうつくるか、お互い理解をどう深めるかという所に活用できると思いますので、そうした取組を行って頂きたいです。さらに、AI技術をキャッチアップして使いこなすというより、品川区の持っている独自性や創造性と、AI技術を掛け合わせることで、即ちAIを触媒として活用することで、他の自治体がキャッチアップできないソリューションが出て来ると思いますので、そのような点を盛り込んで頂きたいです。	ご指摘いただいた先進事例も参考にしながら、本区の実情に合った形での活用を検討してまいります。また、AIの活用については、単なる業務効率化にとどまらず、区民サービスの質的向上など、多様な可能性を秘めていると考えております。現段階では基本的な業務改善を着実に進めることを優先し、段階的に活用範囲を広げていく方針です。 今後も区民の皆様のご意見を参考にしながら、本区の特性を活かした効果的なデジタル化を推進してまいります。

4. 全般・その他ご意見

No.	ご意見(要旨)	区の考え方
1	暫定版P2に基本方針策定の背景、P3に3つの視点によるアプローチと将来像がありますが、ここに記載のない視点として、品川ブランドをデジタルを活用して対外的に発信し、品川の価値を高めていくことも盛り込んで頂きたいです。デジタルの力で、人々の感情に訴えて、品川区が区民にとって暮らしやすいだけでなく、世の中に魅力あふれるまちとして知られることも大事な要素と考えます。	令和6年度から、さらなる区の価値を向上させるため、区民の理解や共感のもと、未来に向かって情緒的な価値を創り、区のイメージを高める都市ブランディング事業を開始しています。デジタル技術の活用も検討し、区のブランド価値向上を図ってまいります。
2	品川区DX推進基本方針は、普段、デジタル機器やIT環境にない人たちから、おおむね区がどのような方針をもってDXに取り組もうとしているかを理解する上で、わかりやすい内容となっていると思います。 一方で、令和元年度DX推進指標（経済産業省）に沿った内容だと思いますが、DX推進基本方針「02将来像と実現に向けた基本方針」の将来像と各基本方針に、DX推進指標の指標項目おそらく「DXを実現する上で基盤となるITシステムの構築に関する指標項目」との関連性を明示すると、官民共創していくうえで、課題の抽出と解決に向けて、共通のトラックを走ることができるのではないかと思います。	本区では、人口動態などの基礎的なデータを区ホームページで公開するとともに、東京都のオープンデータポータルサイトにもデータを提供しております。東京都へのデータ提供により、23区間での比較分析が可能となり、広域的な視点での政策立案や区民の皆様の利便性向上に寄与していると考えております。 ご指摘のとおり、オープンデータの推進はDX計画において重要な要素であり、行政の透明性向上や官民協働による地域課題解決に資するものです。今後は、オープンデータの公開範囲を拡大し、より使いやすい形式での提供を進めてまいります。
3	DX推進基本方針「03推進に向けて」の推進体制で、文章上では、「CIOを中心に全庁横断的なDX推進体制を整え、」とあるが、組織図を見ると組織上の職制意思決定構造のままで、部門を越えた横断的な判断・提案ができるような仕組みになっていないように見える。 「DX推進戦略会議内」に、デジタル化推進委員が組織上の職制構造の外側からの推進できる仕組みでないとして、横断的な推進は不可能なように思える。 また、DXは、IT技術を用いて「どんなデータがどこにあるか判っている人（おそらく職制上下位者）」と「データを利用する人（職制上上位者）」を結ぶツールに過ぎず、組織の意思決定を変更するものではないので、推進体制を職制上の階層に連関させる必要はないものと思う。	本区のDX推進体制については、CIOを中心とした全庁横断的な推進を基本としつつも、組織運営の効率性と意思決定の迅速性を両立させる必要があると考えております。 DXの本質は、ご指摘のとおり、組織内のデータや知識を効果的に結びつけ、業務改革を実現することにあります。そのため、職制上の階層にとられない柔軟な情報共有と提案の仕組みについても、今後さらに充実させてまいります。
4	品川区DX推進基本方針の策定にあたって、DX推進した成果としてのDX化の定性的、定量的な評価をする項目がないが、令和元年度DX推進指標（経済産業省）にDX推進の成熟度を評価する考え方があり、これを参考に、年度ごとの推進活動の評価を行っていくべきではないか。 特に、定量的に評価がなされれば、必要な予算付けの根拠にもなり、区内のDX化が進み見やすくなるのではないと思う。	本区では、DX推進の成果の可視化は重要であると認識しております。ご指摘のとおり、経済産業省の「DX推進指標」のような定性的・定量的な評価の枠組みを活用することは、DX推進の進捗状況を客観的に把握し、次の施策につなげる上で有効な手段であると考えております。 基本方針では評価の枠組みについて詳細な記載はありませんが、今後策定するアクションプランにおいて、具体的な評価指標を設定し、定期的な進捗管理を行ってまいります。
5	①情報公開請求は未だに電子申請できないのか。②できないのであれば理由は。③情報公開申請の窓口は未だに各課が担っているのか。④情報公開請求のDX化の予定は	情報公開請求は令和6年4月より品川区電子申請サービスにて申請をいただけます。なお、電子申請の受付窓口は戦略広報課となります。